

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年1月23日(2020.1.23)

【公表番号】特表2019-505482(P2019-505482A)

【公表日】平成31年2月28日(2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報2019-008

【出願番号】特願2018-530013(P2018-530013)

【国際特許分類】

| | | |
|---------|-------|-----------|
| A 6 1 K | 6/30 | (2020.01) |
| A 6 1 K | 6/00 | (2020.01) |
| A 6 1 K | 6/84 | (2020.01) |
| A 6 1 K | 6/882 | (2020.01) |
| A 6 1 K | 6/887 | (2020.01) |
| A 6 1 C | 13/00 | (2006.01) |
| C 0 8 F | 4/40 | (2006.01) |
| C 0 8 F | 2/44 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|-------|-------|
| A 6 1 K | 6/00 | A |
| A 6 1 K | 6/00 | Z |
| A 6 1 K | 6/04 | |
| A 6 1 K | 6/06 | A |
| A 6 1 K | 6/083 | 5 0 0 |
| A 6 1 C | 13/00 | C |
| C 0 8 F | 4/40 | |
| C 0 8 F | 2/44 | B |

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月5日(2019.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

パートA及びパートBを含む歯科用パーティキットであって、

パートAは、

アスコルビン酸部分を含む1つ又は複数の構成成分、

1つ又は複数のサルファイト、1つ又は複数のホスファイト、又はそれらの混合物から選択される安定剤、

任意選択の、酸性部分を有しない1つ又は複数の重合性構成成分、

任意選択の、酸性部分を有する1つ又は複数の重合性構成成分、

任意選択の1つ又は複数のフィラー、

任意選択の1つ又は複数の添加剤を含み、

パートBは、

酸性部分を有しない1つ又は複数の重合性構成成分、

酸性部分を有する1つ又は複数の重合性構成成分、

1つ又は複数の遷移金属構成成分、

1つ又は複数の有機ペルオキシド、

任意選択の 1 つ又は複数のフィラー、
任意選択の 1 つ又は複数の添加剤を含む、
パーツキット。

【請求項 2】

パート A は、

アスコルビン酸部分を含む 1 つ又は複数の構成成分、

1 つ又は複数のサルファイト、1 つ又は複数のホスファイト、又はそれらの混合物から選択される安定剤、

酸性部分を有しない 1 つ又は複数の重合性構成成分、

1 つ又は複数のフィラー、

任意選択の、酸性部分を有する 1 つ又は複数の重合性構成成分、

任意選択の 1 つ又は複数の添加剤を含み、

パート B は、

酸性部分を有しない 1 つ又は複数の重合性構成成分、

酸性部分を有する 1 つ又は複数の重合性構成成分、

1 つ又は複数の遷移金属構成成分、

1 つ又は複数のヒドロペルオキシド及び 1 つ又は複数のジペルオキシドから選択される 1 つ又は複数の有機ペルオキシド、

1 つ又は複数のフィラー、

任意選択の 1 つ又は複数の添加剤を含み、

前記パーツキットは、ペースト / ペースト系として提供される、

請求項 1 に記載のパーツキット。

【請求項 3】

前記パーツキットのパート A における、前記アスコルビン酸部分を含む 1 つ又は複数の構成成分の、前記 1 つ又は複数の安定剤に対する比は、m o l に関して、1 : 5 ~ 5 : 1 の範囲である、請求項 1 又は 2 に記載のパーツキット。

【請求項 4】

パート A の組成物は、湿った pH 感応紙と接触させた場合に、6 ~ 8 の pH 値を有し、パート B の組成物は、湿った pH 感応紙と接触させた場合に、4 未満の pH 値を有する、

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項 5】

前記 1 つ又は複数の有機ペルオキシドは、構造部分 R - O - O - H (式中、R は、アルキル、分枝状アルキル、シクロアルキル、アルキルアリール、又はアリール部分である) を含むヒドロペルオキシドである、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項 6】

前記 1 つ又は複数の有機ペルオキシドは、部分 R₁ - O - O - R₂ - O - O - R₃ (式中、R₁ 及び R₃ は、独立して、H、アルキル、分枝状アルキル、シクロアルキル、アルキルアリール、又はアリールから選択され、R₂ は、アルキル又は分枝状アルキルから選択される) を含むジペルオキシドである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項 7】

前記遷移金属構成成分は、遷移金属として、水和物又は乾燥物の形態である Ti、V、Cr、Mn、Co、Ni、Cu、Fe、Zn、及びそれらの混合物を含み、前記 1 つ又は複数の遷移金属構成成分は、好ましくは、水和物又は乾燥物の形態である酢酸銅、塩化銅、安息香酸銅、銅アセチルアセトネート、ナフテン酸銅、カルボン酸銅、銅ビス(1-フェニルペンタン-1,3-ジオン)、銅錯体、及びそれらの混合物から選択される、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のパーツキット。

【請求項 8】

前記安定剤は、有機サルファイト若しくは有機ホスファイト、又はそれらの混合物であ

る、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載のパーティキット。

【請求項 9】

パート A 又はパート B は、光開始剤を追加的に含み、前記光開始剤は、好ましくは、増感剤と、前記アスコルビン酸部分を含む構成成分とは異なる、更なる還元剤とを含む、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のパーティキット。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載のパーティキットのパート A の組成物及びパート B の組成物を混合し、得られた混合物を硬化させることによって得ることができる、歯科用又は歯科矯正用組成物であって、自己エッチング性、自己接着性、かつ自己硬化性の組成物である、歯科用組成物。